



博物館利用の手引き

【教職員用】

2018年6月

富士山かぐや姫ミュージアム

Mt. Fuji and Princess Kaguya Museum

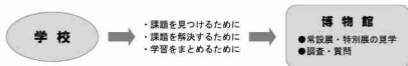


目 次

・学校との連携スタイル	・ P1
・【見学】	・ P2
・【体験学習】・【出前授業】	・ P4
・【資料貸出】	・ P6
・本館のご案内	・ P8
・歴史民俗資料館のご案内	・ P11
・富士川民俗資料館・小休本陣常盤家住宅主屋のご案内	・ P13
・広見公園内ふるさと村のご案内	・ P14
・富士市立博物館利用申込書	・ P16
・資料借用申請書	・ P18
・利用案内	・ P19

富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館）では、
以下4つのスタイルで学校活動の支援を行っております。

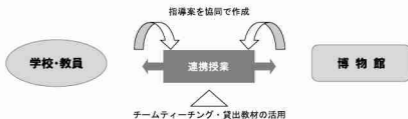
(1) 博物館の見学を中心とするスタイル



(2) 博物館の資料や人材を活用するスタイル（体験学習）



(3) 出前授業のスタイル



(4) 博物館の貸出資料を学校の授業で活用するスタイル



【見学】

●利用の手続き

①電話で仮予約

(☎0545-21-3390)

学校からお知らせいただくこと

- ・学校名 ・学年 ・人数 ・ご利用希望日時
- ・窓口となる先生のお名前 ・その他(利用目的、昼食の有無など)

②博物館利用 申込書の提出

博物館利用申込書は本手引書 P16 をコピーいただくか、富士山かぐや姫ミュージアムホームページからダウンロードしてください。
提出はFAXでもかまいません。(FAX0545-21-3398)

③事前打合せ・ 下見

目的に合わせて有効に博物館をご利用いただくため、当日の見学や館内の動きについて話し合います。

- ・見学コースの、時間配分、グループ分けなどを決めていきます。
- ・学芸員による展示説明が必要な場合はお申し出ください。
- ・事前に児童・生徒人数分のパンフレットをお渡しすることも可能です。

④当日

博物館にお越しいただいたら、入館前に窓口まで利用者数(児童・生徒数、教員数、ボランティアなどの引率者)をお知らせください。

●入館料について

大人・小人や居住地を問わず、すべての方が無料で展示をご観覧いただけます。ただし、有料の特別展開催時には学校見学においても観覧料をいただく場合がありますので、あらかじめご相談ください。

●見学の際の注意点(来館される前にあらかじめ児童・生徒の皆様にご指導願います。)

- ・展示物には基本的にはお手を触れぬよう、お願いします。一部、「さわってOK」等のサインのある資料については触ることができますが、くれぐれも大事に扱っていただきますようお願いください。
- ・「撮影不可」のサインのある資料を除き、展示室内および展示物の写真撮影や④IS・ウェブサイト等への掲載をしていただくことができます。
- ・パソコン画面、操作ボタンなどは丁寧に扱ってください。
- ・館内で走ったり、騒いだりしないでください。他のお客様のご迷惑にならないようお願いいたします。
- ・館内での飲食はご遠慮ください(1Fホールは飲み物のみOKです)。ただし、あらかじめご相談をいただければ、本館講座室や旧稲垣家住宅、工芸室などを雨天時の昼食場所にご利用いただくこともできます。
- ・公園見学後の入館は、靴の土をはらってから見学してください。
- ・忘れ物がないよう、帰りの際にはご確認ください。
- ・屋外移築復元家屋も大切な文化財です。ご予約いただいた場合の旧稲垣家住宅を除き、基本的には建物内に入ることはできません。

●よくある質問

Q：大型バスを停める駐車場はありますか？

A：3台までなら、博物館駐車場に停めることができます。ただし、混雑する時期、または4台以上でお越しの場合は、広見公園大型駐車場をご利用ください。

Q：お弁当を食べる場所がありますか？

A：お天気のよい日は広見公園をご利用ください。（ごみは必ずお持ち帰りください。）広見公園ご利用の際は、施設利用環興公社へご連絡願います（0545-55-3553）。

雨天の場合、当館講座室や旧稲垣家住宅、工芸室をお貸しすることができます。ただし、当館の都合によりお貸しできない場合もございますので、事前にご確認ください。

Q：遠足を予定していて、雨天のときだけ利用したいというような申込みもできますか？

A：雨天時利用だけの申込みも可能です。通常利用と同様に博物館利用申込書をご提出ください。



【体験学習】【出前授業】

●利用の手続き

①電話で仮予約

(☎0545-21-3380)

学校からお知らせいただくこと

- ・学校名 ・学年 ・人数 ・希望日時
 - ・窓口となる先生のお名前 ・その他(学習の目的・内容など)
- ※内容によって異なりますが、実施日の2～1ヶ月前までにお申込みください。

②博物館利用 申込書の提出

博物館利用申込書は本手引書 P16 をコピーいただくか、富士山かぐや姫ミュージアムホームページからダウンロードしてください。
提出はFAXでもかまいません。(FAX0545-21-3398)

③事前打合せ

学校のご要望をお聞きしながら、内容や構成について打合せをします。
(電話予約のみの対応はいたしません。)

- ・体験、授業の計画書(詳細のわかるもの)等をご用意ください。
- ・体験学習のなかには材料費の実費負担を伴うものがあります。
- ・材料の対応可能人数、職員の手配状況などによりすべてのご要望に対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。

●富士山かぐや姫ミュージアム 体験学習例

体験名	会場	申込期限	内容と諸注意	所要時間
①手すきハガキ体験	博物館 または 学校	1ヶ月前	地域の主要な産業である製紙産業と、伝統工芸の紙すきへの理解を促すには最適な体験です。 ・原料は三椏(みつまた)です。学校で原料をご用意いただければ、楮(こうぞ)や牛乳パックでも行えます。 ・館の原料を使う場合、体験料として1枚につき50円、体験当日にお支払いください。 ・学校を会場とする場合は、水が使用できる教室をご用意ください。	1クラス 1時間
②紙のリサイクル体験	学校 または 博物館	1ヶ月前	ミキサーで砕いたチラシを原色して原料を作り、ハガキサイズの再生紙を作ります。 ・チラシは学校でご利用ください。	1クラス 3時間
③音の道具体験	博物館 または 学校	1ヶ月前	明治～昭和期に庶民が使ったくらしの道具について、学芸員による説明や実演のほか、児童・生徒による体験もできます。 ・学校では体育館などの広い室内で行います。 ・博物館見学时に行うこともできます。	1～2 時間
④かまど炊飯体験	博物館	1ヶ月前	旧稲垣家住宅のかまどを使い、炊飯を行います。ご要望次第で、火吹き竹を使った火力調節も体験できます。 ・米は学校でご利用ください。	約1時間
⑤いろいろ体験	博物館	1ヶ月前	旧稲垣家住宅のいろりに火を入れ、昔の家の様子を体験できます。昔の農家のくらしや家の特徴も学んでいただけます。	約30分

⑥火おこし体験	博物館 または 学 校	見学申込み時	<p>原始・古代体験として、弓ぎり式のお火おこし体験ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学時にも体験が可能です。打合せ時にお申込みください。 ・道具に限りがございますので、1回につき、あらかじめ3～5人のグループに区分けしてください。 	約30分 ～1時間
⑦縄文土器作り	博物館 または 学 校	2ヶ月前	<p>原始・古代体験として、一人500gの粘土を使い、縄文土器を作成します。(基本は成形のみ。焼成は別になります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土は学校でご用意ください。 	1クラス 3時間
⑧勾玉作り	博物館 または 学 校	1ヶ月前	<p>原始・古代体験として、サンドペーパーや金属ヤスリで滑石を削り、勾玉のペンダントを作ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料となる滑石・サンドペーパー等は学校でご用意ください。教材の勾玉キットを使用する場合は、追加で40番の布やすりを一人1/6枚ずつご用意ください。 	約2時間
⑨古代の炊飯体験	博物館 または 学 校	1ヶ月前	<p>原始・古代体験として、当地域特有の台付甕を用いた炊飯体験ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白米は学校でご用意ください。 	約1時間
⑩野焼き体験	学 校	2ヶ月前	<p>⑦で作成した土器を古代の方法で焼き上げます。あぶり、本焼成に時間がかかりますのでその間に⑥、⑧、⑨などの体験を取り入れるとより効果的です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野焼き可能な場所の確保をお願いします。 ・材料・道具等は学校でご用意ください。 ・年間4校程度の実施となります。(先着順) 	終日
⑪職場体験	博物館	1ヶ月前	博物館の仕事を1日体験していただけます。	終日

※上記以外の内容でも、ご要望に応じた対応に努めていきたいと考えています。遠慮なくご相談ください。



①手すきハガキ体験



③昔の道具体験



⑥火おこし体験



⑦縄文土器作り

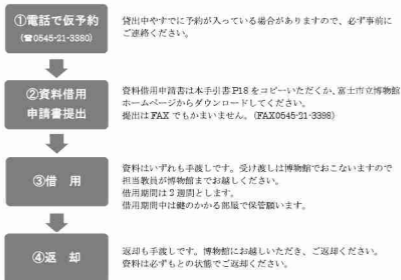
●富士山かぐや姫ミュージアム出前授業例

分野	内容（テーマ）
考古	渡来人が伝えたもの、富士市の古墳、遺跡でみる災害の爪あと、富士川の遺跡、富士山南麓の遺跡、浮島沼周辺の遺跡、田子の浦砂丘の遺跡、愛鷹山南麓の遺跡
歴史	ロシアの黒船ディアナ号、宿場吉原のようす、吉原湊、浮島沼開発、富士川舟運と渡船、富士山東泉院の歴史、江戸時代のくらし、富士の災害史、富士市ゆかりの芸術家
民俗	富士市の農業、地域のおまつり、むかしのからしと道具、富士市の林業と水産業、お茶について、水について、養蚕について
紙	富士川流域の手すき和紙、地場産業としての製紙業
富士山	富士山のかぐや姫物語と伝承地、富士山の成り立ち、富士市の地形、富士山登山道、富士山信仰
その他	各校区の歴史や文化財などの見所紹介や現地案内、フィールドワークの方法について、博物館における仕事、道徳の授業（郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度）

※上記以外の内容でも、ご要望に応じた対応に努めていきたいと考えています。遠慮なくご相談ください。

【資料・備品貸出】

●利用の手続き



●貸出資料一例

	資 料 名	
レプリカ・実物資料	考 古	縄文土器 縄文土器片 弥生土器 奈良時代瓦 黒曜石など
	歴 史	火縄銃 太平洋戦争中の衣類 鉄兜 日用品
	民 俗	傘 着物 洗濯機 湯たんぽ 柱時計 ラジオ 陶器製アイロン おひつなど
	製 紙	樺(原木、甘皮、白皮) 三椏(白皮) 羅皮(甘皮)
体験道具	考 古	火おこしセット
	民 俗	シヨイコ 桶 分銅 天秤棒 洗濯板 たらい 千歯こき とうみ 足踏脱穀機 石臼 木箱 ふるい ハケなど
	製 紙	手すきセット(すげた、コンテナ、攪拌棒)
VTR (各 15 分程度)	考 古	富士市の古墳など
	歴 史	曾我供養祭など
	民 俗	石に刻んだ心 鶴無ヶ瀬神楽 吉原祇園祭 岩瀬島居講など
	製 紙	紙ができるまで 富士市の製紙業など
写真・パネル	特別展示等で使用した写真やパネルが各種あります。	

※上記以外の資料でも貸出可能な場合がありますので、速速にご相談ください。

●貸出にあたっての諸注意

- ・使用目的および管理上の理由から貸出をすることが適当でないとは判断されたときは、貸出をおこなうことができません。
- ・転貸することは禁止します。
- ・申請期日までに資料を返却できなくなった場合は、速やかに連絡してください。
- ・損傷・亡失したときは、速やかに連絡してください。場合により同等品で弁償していただくことがあります。
- ・借用期間中は必ず鍵のかかる部屋で保管願います。

※【見学】【体験学習】【出前授業】【資料貸出】の詳細、実績については、
富士山かくや姫ミュージアム『館報』のバックナンバーを御参照ください。

『館報』は、市内の図書館等で閲覧いただくか、下記 URL からダウンロードいただけます。
<http://museum.city.fuji.shizuoka.jp/report/index.html>

富士山かぐや姫ミュージアム本館のご案内

富士山かぐや姫ミュージアムでは、雄大な富士山に抱かれ、古来、「富士」と呼ばれてきたこの地域に暮らした人びとの歴史や文化の特徴について、「富士に生きる」という大きなコンセプトのもとでご紹介しています。なかでも、富士山南麓を舞台としたかぐや姫の伝承に大きく焦点をあて、信仰の山・富士の姿を地域に根ざした視点から紐解いてまいります。

展示全体を通して、世界文化遺産・富士山と共に歩んできた人びとの力をみなさまに体感していただければ幸いです。

展示室1

富士山南麓の地に生活してきた人々の歴史や文化について、時代順・テーマ別に展示しています。



富士の舞台：富士の土地の成り立ち

現在とは大きく異なる、昔の富士の地形を学べます。今景で出土した約 1700 年前の本造磁石、全国的にも貴重です。



富士の黎明：縄文のムラと暮らし

本物の縄文土器に彩られた縄文ジオラマが見どころ。



富士の黎明：集落の成熟と王の誕生

誕生～古墳時代について紹介。工業都市・富士のさがけが古代エンジニアの古墳出土品に注目。



富士の黎明：富士の名を冠する器へ

古代の富士郡役所とその周辺について展示。「布織」(ふじ)と書かれた土器が見どころ。



動乱から泰平の世へ：社会のみだれと神仏への祈り
平安時代末から鎌倉時代の信仰や動乱を紹介。



動乱から泰平の世へ：富士山東泉院
戦国から泰平の世を駆け抜けた、富士郡下方の領主・東泉院の史料に注目。



街道と宿場のにぎわい
吉原宿の町なみを再現したジオラマが見どころ。



富士川舟運と渡船
東海道の渡船場であり、駿河・甲斐を結ぶ水運の拠点であった岩瀬と富士川の歴史を紹介。



水とともに生きる
富士川や渡井川、浮島沼を制し、また活かしてきた先人たちの営みを紹介。



富士の災害
富士に生きる人びとが長く付き合ってきた自然災害（富士火山・地震・台風と高潮）について紹介。富士市域に降り積もった火山灰や、津波で被災したロシア軍艦・ディアナ号にまつわる歴史は必見。

展示室3

富士市には、かくや姫が富士山に帰り、富士山の祭神になったという独特な竹取物語が伝わっています。この展示室では、富士山とかくや姫のつながりを示す歴史資料や、富士山南麓で活動した修験者について紹介しています。



竹取物語へのいざない

広く一般に知られる竹取物語のあらすじと、世界各地の言語に翻訳された竹取物語の絵本や書籍を展示。



富士山のかくや姫

富士山のかくや姫物語のあらすじを、影絵と映像によって紹介。かくや姫と帯(みかど)の恋の行方は?



かくや姫と富士山縁起

富士山のかくや姫物語が記された、「富士山縁起(えんぎ)」と呼ばれる史料を紹介。その遺筆ぶりに注目!



富士山登山地図

富士山信仰を広めるために修験者たちが配った江戸時代の観光ガイド「富士山登山地図」を紹介。



南麓に受け継がれる富士山信仰-岩淵鳥居講

富士川の渡船場-河岸場として栄えた岩淵に今も伝わる、富士山頂への鳥居参納儀礼を紹介。

歴史民俗資料館(博物館分館)のご案内

1階フロア

富士市域は、駿河湾の海岸から富士川・湖井川などの河川によるなだらかな扇状地と東部の低湿地、富士山・愛鷹山へと続く斜面の間に広がります。海岸の漁村から最北の山村までの標高差 800mの間、それぞれの地に適した暮らしを営んだ人びとの姿をご紹介します。



ハマの暮らし

駿河湾沿岸部で営まれていた生業について紹介。



ドブツのある暮らし

浮島沼周辺の湿田とそこで使われた農具(県指定文化財)について紹介。



最作への道い

米の収穫から脱穀・精米の道具を紹介。



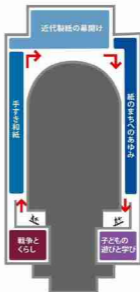
ヤマガの暮らし

富士山麓麓の生業や茶作りの道具を紹介。

2階フロア

富士山南麓の豊富な森林資源や水を利用して発達してきた紙のまち・富士の歴史や学校教育、子どもの遊びや紙のおもちゃなどを展示しています。また、近代の戦争と戦時中の暮らしについての展示も見ることができます。「紙のまち」というフィルターを通して、富士市の近代と未来の姿を考えます。

2F



手すき和紙

原料の刈り取りから紙を漉くまでの工程を紹介。



近代製紙の扉開け

世界で評価された明治期の富士ブランド「佐野熊ナブキン」に注目。



紙のまちへのあゆみ

太平洋戦争から高度経済成長期の製紙業のあゆみと、その後の環境に配慮した紙づつについて紹介。



子どもの遊びと学び

学校教育の歴史や学習用具・子どものおもちゃを展示。

富士川民俗資料館(博物館分館/稲葉家住宅)のご案内



南松野桑木野にあった稲葉家住宅を移築復原。江戸時代中頃の建築とされ、田の字型の間取りで、富士川下流域の農家の典型的な姿を残しています。屋内では松野の暮らしにまつわる道具を展示・収蔵しています。

小休本陣常盤家住宅主屋のご案内



小休本陣とは、宿と宿の間にある間宿で、主に通行する諸侯や身分のある諸家の休憩を目的とした施設をいいます。間宿岩西では、富士川の渡船待ちの際にも使われました。常盤家は小休本陣を営むとともに、富士川の渡船役も勤めていました。

割室の一番奥には大名などの賓客が滞在した「上段の間」と呼ばれる部屋があります。この部屋は隣の部屋よりも床を9cmほど高くし、床の間と違い棚を設け、長押をめぐらせた格式の高い造りとなっています。

富士川民俗資料館・小休本陣常盤家住宅主屋を見学する場合

- ・富士川民俗資料館および小休本陣常盤家住宅主屋の開館日は、土・日・祝日となります。平日(博物館開館日)に見学希望の場合は、富士山かぐや姫ミュージアムまでご連絡いただき、博物館利用申込書(本手引き P16)を提出してください。
- ・富士川民俗資料館および小休本陣常盤家住宅主屋には大型専用駐車場がございません。(富士川民俗資料館には小型専用駐車場があります。)
鉄道・バスなどの公共交通機関をご利用ください。
- ・富士川民俗資料館および小休本陣常盤家住宅主屋は建物内に上がることはできません。
※富士川民俗資料館は2018年3月に耐震補強修繕が完了し、建物内の見学ができるようになりました。新しくなった富士川民俗資料館もご利用ください。

広見公園ふるさと村歴史ゾーンのご案内

移築復元家屋等が多数展示されています。ふるさと村全体の見学時間はおおよそ 40 分です。



①友好の像	日露和親条約締結 140 周年を記念して、ロシアから寄贈されました。
②万葉歌碑 東歌	7～8 世紀中頃の東国の庶民が歌ったものです。
③横沢古墳	公園の北西、低洼沼沿いに築かれた古墳。人骨の他、馬具、直刀などの副葬品が出土しました。お申込みいただければ石室を見学することができます(15 人まで)。
④東平遺跡高床倉庫	東平遺跡は、富士 IC 周辺にあった奈良～平安時代の集落跡で、富士郡の役所と関わりがあったと考えられています。この倉庫は発掘調査に基づいて復元したものです。
⑤東平遺跡竈穴住居	火災で焼失したこの住居からは、土器のほか多数の鉄器が出土。集落の中心的な役割をもった人が居住していたと考えられています。
⑥旧稲垣家住宅	文化元年(1804)建造。妻栗をおこなうための「兜造り」の居慣を育します。
⑦旧池来住石倉	興津に建てられた伊藤博文の美子・博邦の別荘にあった石倉。大正 9 年(1920)頃。
⑧樋代官儀松家住宅	鷹岡・伝法の用水を管理し樋代官と呼ばれた、厚原・植松家の住宅。幕末期の当時としては珍しい 2 階建てです。
⑨原泉舎	明治 6 年に今泉小学校の前身として使用された仮敷場です。嘉永元年(1848)建造。
⑩旧松永家住宅	平塚にあった養農・松永家の住宅の一部を復元。武家風様式を残す貴重な建物です。安政 4 年(1857)建造。
⑪樋代官長屋門	鷹岡・伝法の用水を管理し樋代官と呼ばれた、厚原・植松家の長屋門。
⑫一幸一石経王塔	小石に経文の一幸を記入して土中に埋め、その上に石碑を建てたものです。
⑬道しるべ	富士市内にあった東海道や根方街道などの道しるべ。

①富士山頂に奉納された鳥居	菅原鳥居講のグループによって、平成 16 年（2004）に富士山頂に奉納された鳥居です。菅原では江戸時代より、12 年に一度、申の年に鳥居の奉納が行われています。
②小糸のぶ文学碑	明治 38 年(1905)菅原に生まれ、小学校教師を勤めた小糸のぶの脚本の一部です。
③鮎崎館	現菅原二丁目にあった、料理店の支店として建てられた洋風建物。屋根には避雷針がついています。明治 25 年(1892)建造。
④杉浦医院	現中央町一丁目にあった医院。70 年間にわたり地域医療を担っていました。大正 8 年(1919)建造。



①横沢古墳(古墳時代)



④東平邊跡高床倉庫(奈良・平安時代)※復元



⑤東平邊跡竪穴住居(奈良・平安時代)※復元



⑥田相地家住宅(江戸時代～)



⑦源泉會(江戸時代～)



⑧富士山頂に奉納された鳥居(平成 16 年)

富士市立博物館

利用申込書

館長	僚

平成 年 月 日

富士市立博物館長 宛

学校名
 校長名
 住 所
 電話番号 ()

次のとおり博物館を利用したいので、申請します。

日 時	平成 年 月 日 ()		
	時 分	から	時 分
内 容	【見 学】 ※希望箇所、説明の有無に○をつけて下さい。稲垣家はイロリ有の場合説明もつきます。 本館 (説明：有・無)・歴史民俗資料館 (説明：有・無)・古墳 (説明：有・無) 稲垣家 (イロリ点火：有・無)・その他屋外展示 (説明：有〔全体・)・無) 富士川民俗資料館 (説明：有・無)・小休本陣 (説明：有・無)		
	【体 験】 ※その他の体験を希望の場合は事前に担当職員と打ち合わせをして下さい。 火おこし・紙すき・勾玉作り・土器作り & 野焼き・古代米・陶芸・稲垣家かまど キャンドル・その他()・職場体験		
	【出前授業】 について		
利用場所	【博物館】 ※空き状況によりますので事前に担当と打ち合わせをして下さい。 上記見学場所と同じ・実習室 (紙すき)・陶芸室・染色室・稲垣家・その他 ()		
	【昼 食】 とる (広見公園・その他) とらない 雨天の場合 (バス・稲垣家・会議室・染色室・)		
	【学 校】 教 室・体育館・校 庭・その他 ()		
	※広見公園ご利用の際は、施設利用振興公社へご連絡願います (0545-55-3553)。		
年・人数	学年	クラス	名
教員名			名
教科			
单元名			
備 考	予備日	担当	※記入しないでください。 要説 ()・なし
	@ × 名	職員	

●富士山かくや姫ミュージアム利用の手続き

なるべくお早めに

～約1ヶ月前

①電話で仮予約
0545-21-3380

学校からお知らせいただくこと

- ・学校名 ・学年 ・人数 ・ご利用希望日時
- ・窓口となる先生のお名前 ・その他(利用目的、昼食の有無など)
- ・打ち合わせ・下見の日程など

②事前打ち合わせ
下見

目的に合わせて有効に博物館をご利用いただくため、
当日の見学や体験について話し合います。

～約1ヶ月前

- ・見学コース、体験内容、グループ分け、利用場所、昼食の有無、学芸員の説明の有無などを決めていきます。
- ・事前に児童・生徒人数分のパンフレットをお渡しすることも可能です。

③博物館利用
申込書の提出

博物館利用申込書は、下見時にお渡ししたものを
ご利用いただくか、富士市立博物館ホームページから
ダウンロードしてください。

～約2週間前

提出は FAX でもかまいません。(FAX : 0545-21-3398)

④当日
利用人数報告

博物館にお越しいただいたら、入館前に窓口まで利用者数(児童・生徒数、教員数、ボランティアなどの引率者)をお知らせください。

●入館料について

大人・小人や居住地を問わず、すべての方が無料で展示をご観覧いただけます。ただし、有料の特別展開催時には学校見学においても観覧料をいただく場合がありますので、あらかじめご相談ください。

●見学の際の注意点(来館される前にあらかじめ児童・生徒の皆様にご指導願います。)

- ・展示物には基本的にはお手を触れぬよう、お願いします。一部、「さわって OK」等のサインのある資料については触ることができますが、くれぐれも大事に扱っていただきますようご注意ください。
- ・「撮影不可」のサインのある資料を除き、展示室内および展示物の写真撮影や SNS・ウェブサイト等への掲載をしていただくことができます。
- ・パソコン画面、操作ボタンなどは丁寧に扱ってください。
- ・館内で走ったり、騒いだりしないでください。他のお客様のご迷惑にならないようお願いいたします。
- ・館内での飲食はご遠慮ください(1F ホールは飲み物のみ OK です)。ただし、あらかじめご相談をいただければ、本館講座室や旧稲垣家住宅、工芸室などを雨天時の昼食場所にご利用いただくこともできます。
- ・公園見学後の入館は、靴の上をはらってから見学してください。
- ・忘れ物がないよう、帰りの際にはご確認ください。
- ・屋外移築復元家屋も大切な文化財です。ご予約いただいた場合の旧稲垣家住宅を除き、基本的には建物内に上がることはできません。

富士山かくや姫ミュージアム 〒417-0061 富士市伝法 66-2

TEL : 0545-21-3380 FAX : 0545-21-3398

資料借用申請書

平成 年 月 日

富士市立博物館長 宛

学 校 名
校 長 名
住 所
連 絡 先 ()

次のとおり借用したいので、申請します。

資 料 名	数 量	資 料 名	数 量
学年 クラス 人数	年 組 名		
教 科 名			
単 元 名 (単元のねらい)	()		
借 用 理 由			
借 用 期 間	平成 年 月 日()から 平成 年 月 日()まで		
備 考			

資料貸出にあたっての諸注意

- ・ 資料を転貸することは禁止します。
- ・ 資料の借用・返却は博物館でおこないます。
- ・ 借用期間は2週間です。申請期日までに資料を返却できなくなった場合は、速やかに連絡してください。
- ・ 資料は必ずもとの状態で返却ください。損傷・亡失したときは、速やかに連絡してください。場合により同等品で弁償していただくことがあります。
- ・ 資料は必ず鍵のかかる部屋で保管願います。

利用案内

<富士山かくや姫ミュージアム（富士市立博物館）>

○所在地 〒417-0061 静岡県富士市伝法 66 番地の 2 TEL 0545-21-3380 FAX 0545-21-3398

○開館時間 夏期（4月～10月）9:00～17:00 / 冬期（11月～3月）9:00～16:30

○休館日 月曜日（祝日の場合は休館）、祝日の翌日、12月28日～翌年1月4日まで

○観覧料 無料

○交通 京 R 線：JR 東海道本線富士駅・吉原駅から車で 20 分、東海道新幹線富士駅から車で 15 分
路線バス：吉原中央駅③番線で乗車、「広見団地入口」下車、徒歩 3 分
高速バス：富士 IC「東名富士」下車、徒歩 20 分
車：西富士道路「大澤・広見インター」降りて東へ 1 分、駐車場あり

<富士市立歴史民俗資料館（博物館分館）>

○所在地 〒417-0061 静岡県富士市伝法 86 番地の 7 TEL・FAX は博物館に同じ

博物館より北へ徒歩 3 分 ※広見公園歴史ゾーン（博物館に隣接）に屋外展示

○開館時間・休館日・お問い合わせ先は博物館に同じ

○観覧料 無料

<富士市立富士川民俗資料館（稲葉家住宅、博物館分館）>

○所在地 〒421-3305 静岡県富士市岩淵 8-1 TEL・FAX は博物館に同じ

○開館日 土・日・祝日（開館時間は博物館と同じ）※学校から御予約があれば、平日も開館いたします。

○観覧料 無料

○お問い合わせ先は博物館に同じ

○交通 京 R 線：JR 東海道本線富士川駅から徒歩 15 分

高速バス：東名富士川 SA「東名富士川」下車、徒歩 15 分

車：東名高速道路富士 IC 降りて南西へ約 30 分、または、東名富士川 SA スマート IC 降りて南西へ 2 分、駐車場あり

<小体本陣常盤家住宅主屋（国登録有形文化財）>

○所在地 〒421-3305 静岡県富士市岩淵 455 TEL・FAX は博物館に同じ

○開館日 土・日・祝日（開館時間は 9:00～16:00）※学校から御予約があれば、平日も開館いたします。

○観覧料 無料

○お問い合わせ先は博物館に同じ

○交通 京 R 線：JR 東海道本線富士川駅から徒歩 20 分

高速バス：東名富士川 SA「東名富士川」下車、徒歩 10 分

車：駐車場がございませんので車での御来場は御遠慮願います。

